

最新の店舗ならではの 魅力と挑戦

待望の「イオンモール津南」が開業して、間もなく1カ月。オープン当初の大混雑もひと段落しました。前身の「イオン津南ショッピングセンターサンバレー」を継承しつつも、大きく生まれ変わった同店の、買い物を楽しく便利にする仕掛けについて見ていきましょう。

住民らの要望を反映した 多彩なテナントがそろそろ

約40年にわたって地域に親しまれてきた、イオン津南ショッピングセンターサンバレー（以下サンバレー）が老朽化のため閉店したのは、平成28年2月29日でした。跡地にはイオンモールの出店が決まり、地域の声を聞くマーケットリサーチが行われました。イオンモール津南の店づくりには、そのアンケート結果が大いに反映されているのです。

もともと要望が多かったテナントが「無印良品」でした。三重県内最大級の売り場面積で、約7千点の品ぞろえを誇ります。ファッションでは、名古屋や鈴鹿へ出かけなくても済むように、という声が多数あり、人気の「H&M」をはじめ、三重県初出店の「Inko and...」[LAKOLE]「BAY-FLOW」などが入っています。

LEDビジョンのほか、約60面が設置されています。イベントのライブ映像やさまざまな店舗情報、季節感を演出した画像などが表示されるほか、セールやお値打ち情報の告知もあるので、要チェックです。

広い店内ですからフロアマップは欠かせませんが、対話型案内システムを搭載したデジタルサイネージが導入されているため、画面のキャラクターに問いかけたり、タッチパネルを押したりすることで、目的の場所などへ音声や画像が誘導してくれます。「ご注文&受取カウンター」の設置も注目です。全国のイオンでも初の試みで、だれもが気軽にネットショッピングを楽しめるようにしました。タブレットで売り場がない商品（家電や家具を中心に約8千点）が注文できます。専任スタッフが常

映画館を望む声も強く、最新鋭の音響・映像システムを採用したシネマコンプレックスが3階南ゾーンに設けられました。「市内に「イオンシネマ津」があるため必要か、という議論もありましたが、多くのお客様から声が上がっていましたので、その要望に沿うことにしました」とゼネラルマネージャーの阿江進さん。

多様なライフスタイルに 寄り添うサービスを提供

近年は価値観やライフスタイルの多様化とともに、育児や介護、仕事などのさまざまな事情から、日常の

駐していますので、ネットショッピングの初心者や未経験者でも安心です。通常のネットスーパーを含め、注文した商品は自宅や指定の場所へ時間内に届けてもらえます。「店舗内受け取りBOX」「ドライブスルー」という選択肢もあり、仕事帰りなど都合の良い時間に立ち寄り、自動車通勤の人は車から降りることなく受け取れます。

多くの繋がりが生まれる 新たな地域の拠点として

イオンモール津南は「新生スマートモール」すべてが「津ながる」モールへをコンセプトに開業しました。特に「津ながる（繋がる）」は象徴的です。

津市はイオンの前身「岡田屋」が初めて支店を出した地。サンバレー時代も合わせ、約60年の時を地域と

地域の皆さんと
いっしょに、お店を
作っていきたく
考えています



イオンモール津南
ゼネラルマネージャー
阿江進さん
ネットスーパーの利用が進む近年。「ぜひ多くのお客様にご利用していただければと思います」と話します

買い物に割く時間を節約する傾向にあります。イオンモール津南では、買い物の快適さや利便性を高めるため、さまざまな挑戦を試みています。

来店者で賑わうモール内を歩いていると目に付くのが、デジタルサイネージ（ディスプレイなどを用いた情報・広告媒体）です。1階中央の「つどの広場」にある270インチ



10月21日に開かれた「植樹祭」。地域住民、来賓、従業員など約1000人が参加して、約1万本の苗木を植樹しました。また、当日は津市との間で、津波発生時における緊急避難場所としての一時使用に関する協定の調印式が行われました。店内のデジタルサイネージでは、防災情報の発信もしていく予定です

ともに歩んできました。そんな地域との繋がりが背景に、地場産や三重県産にこだわった商品を取りそろえており、採れたて野菜から旬の魚介類、肉類、日本酒などが並びます。井村屋の初店舗となる「WAIWAI」も出店しています。

行政との繋がりは、津市と災害時の支援についての協定を開業に合わせて結んでいます。津波が発生した場合の緊急避難場所として住民を受け入れるほか、市の要請に応じて生活用品や食料品などの物資を提供します。

「イベント開催や公園の設置、キッズ・ベビーゾーンの充実など、出会いの場や機会を提供しながら、たとえばママたちのコミュニティのような、お客様とお客様を「津ながる」場になりたいですね」と阿江さん思いを語ります。

子育て世代にうれしい施設



乳幼児〜子ども向けのファッションアイテムや玩具などがそろった専門店「KIDS REPUBLIC(キッズリパブリック)」。親子で絵本を読める「えほんの広場」など子育て世代にうれしい設備が整います



(左)サンバレー公園はモール東側に整備。大型遊具や芝生広場を備えており、日中は子どもたちで賑わっています (右)フードコート「Food Forest(フードフォレスト)」奥には子ども向けの飲食スペースを設置

information
イオンモール津南
営業時間 / 専門店10:00~21:00、レストラン街11:00~22:00、フードコート10:00~21:00、イオンスタイル津南1階9:00~22:00、イオンスタイル津南2階・3階10:00~21:00
※一部営業時間が異なる売場があります
休業日 / 年中無休
所在地 / 津市高茶屋小森町145
問い合わせ / イオンモール津南059-238-4100
イオンスタイル津南059-238-5200
<http://tsuminami-aeonmall.com/>

文 / 長屋整徳 写真 / 編集室 デザイン / Beanstalk 白石純也



1. 店舗内でもネットショッピングができる「ご注文&受取カウンター〜便利!津ながる広場〜」。くつろぎながら利用できるよう、ドリップカフェを併設しています
2. 敷地内の道路に設けられたイオン初の「ドライブスルー」。事前に注文した商品を、好きな時間に車に乗ったままで受け取れます
3. 270インチLEDビジョンが設置された「つどの広場」は、イベント会場。イベントが豊富だったサンバレー時代に劣らぬよう、今後さまざまなイベントを企画していくとしています
4. 売り場面積はサンバレー時代の約1.8倍。広い店内には東海初、三重県初を含む170の専門店が並びます
5. 和洋中などバラエティ豊かな14店が軒を連ねる「セントラルダイナー」
6. 音声による対話型案内システム(サイネージ)では、画面キャラクターが利用者の質問を自動で認識して、最適な案内をしてくれます。タッチパネルのフロアガイドでは、トイレの混雑状況もわかります
7. 3階にあるイベントスペース「イオンホール」前に設置されている常設展示ブースでは、三重の伝統工芸の若き職人たちによる作品を展示。今後、職人によるワークショップなども開催する予定です
8. 3階のイオンホール前の壁面には「世界にははたけ!アサギマダラと子どもたち」と題したパネルがあります。展示されているウッドアートは、地域の子どもたちが制作したものです。その右手ブースでは三重県の歴史や文化、工芸品などを紹介しています
9. 3階中央には、県内最大級の約950席を備えたフードコート「Food Forest(フードフォレスト)」があります
10. みなみの広場に設置されている「津ながる(繋がる)」のモニュメント(展示期間未定)。県民665人が出演したCMIに登場した積木が使用されています